

2007年12月10日

各位

大日本住友製薬株式会社

### 鈴鹿工場 新固形製剤棟 竣工のお知らせ

大日本住友製薬株式会社（本社：大阪市、社長：宮武健次郎）は約100億円の設備投資を行い、当社の鈴鹿工場（三重県鈴鹿市）内に新たな固形製剤棟の建設を進めてきましたが、12月10日に竣工しましたので、お知らせします。

新固形製剤棟は、医薬品販売の伸長に伴う増産対応のため、自動化、効率化を実現するとともに、国際的にますます厳格化するGMPの要求に対応した最新鋭の固形製剤棟としました。また、地球環境に十分配慮しました。今後、様々なバリデーション\*と試運転を実施した上で、2009年1月の本格稼働を予定しています。

新固形製剤棟は下記4つの基本設計コンセプトをもとに建設されました。

1. 国際的GMP基準に適合した製剤棟：作業者が入退室する廊下や原材料・製品の搬送経路を分離することにより、異物混入、交叉汚染を徹底的に排除しました。
2. コスト競争力の向上：倉庫、物流において原材料・製品の入った容器を自動で搬送するシステムを採用し、また製造設備の自動化を推進しました。さらに生産能力の高い製造設備を導入し作業効率の向上を図りました。
3. 将来構想への柔軟性：将来の増産や新製品の導入にも対応できるように予備室を設けました。
4. 環境・人に優しい：有機溶媒の回収装置の設置、コージェネレーション設備の導入を行い、地球環境に配慮しました。また設備の自動化により、作業者への負担を軽減しました。

新固形製剤棟の完成により、品質とコスト競争力が一段と高まるものと期待しています。また、今後、当社の主力製品を鈴鹿工場と茨木工場（大阪府茨木市）の両工場で生産するなど、リスク分散も考慮して両工場間の生産体制の最適化を進めていきます。

以上

※バリデーション：製造所の構造設備並びに手順、工程その他の製造管理および品質管理の方法が期待される結果を与えることを検証し、これを文書とすること(GMP規則で定義)。

○本件に関するお問い合わせ先

大日本住友製薬(株) 広報部 TEL 06-6203-1407

## 施設概要

名 称：鈴鹿工場 新固形製剤棟

所在地：三重県鈴鹿市安塚町 1450（当社鈴鹿工場内）

建物構造：鉄骨造、地下1階／地上7階建（免震構造）

建築面積：3,506 m<sup>2</sup>

延床面積：14,086 m<sup>2</sup>

建物高さ：30.8m

製造能力：約 30 億錠/年。最大稼働時の設備能力は 35 億錠/年を予定しています。

着 工：2006 年 11 月

竣 工：2007 年 12 月

総工費：約 100 億円

